

なの 中央病院

「どうすれば患者さんにとって一番
それぞれの専門性を生かしながら、
看護師やリハビリスタッフなど、そ
んなで支える医療が実現しました。
まとったことで、一人の患者さんを
多様な専門分野のスタッフが集
域を支える新しいチームです。
中央病院は、単なる病院ではなく、地
統合によって誕生した公立佐賀中
小城市民病院と多久市立病院の



来院された 皆さんからの声

病棟にアンケートを設置しており、これ
までにも来院された皆さんからたくさん
の声をいただきました。改善すべき意
見は積極的に取り入れ、より過ごしやす
い病院になるよう取り組んでいます。

これまでの改善例

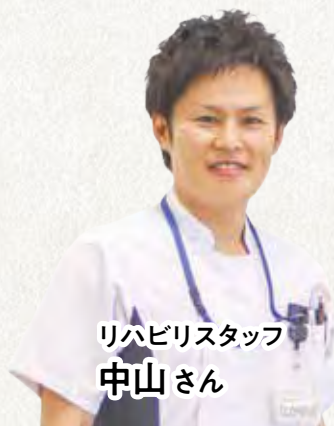
- ・ 病院から薬局までの横断歩道設置
- ・ 4人部屋のパイプ椅子追加
- ・ トイレ内の消毒薬配置変更

「できない」で 終わらせない看護

どんな時も大切にしているのは、患者さん
を第一に考えることです。「できない」と決め
つけず、リハビリスタッフとも協力しながら、
どうすればできるかを考え、一人一人に
寄り添う看護を心掛けています。



看護師 蒲地さん



リハビリスタッフ
中山さん

体と心を支えるリハビリ

統合したことで、多様な専門分野を持
つ頼もしい仲間が集まりました。その
強みを生かして、体だけでなく心にも
寄り添い、その人らしい回復を支えたい
と思っています。患者さんが最後まで
リハビリを続けられる環境づくりを
めざしています。

癒しの 空間づくり



▲ 外観のウォールアート



▲ 院内アート



▲ ワークショップの様子

アート作品の展示やものづくりワー
クショップを通して、患者さんやご
家族、医療従事者に癒しを届け
るとともに、地域の皆さんとの交流を
育む空間をめざしています。



院長 佐藤先生



「すべては患者さんのために」という想いで

2つの歴史ある病院が1つになる節目に立ち会い、新しいチームで患者さんを支える喜びを実感しています。病気だけでなく、食事やリハビリなど、生活面も丸ごと支える「病院総合医」として、みなさんの暮らしを温かく守り続けます。

※病院総合医とは…いつでもなんでも気軽に相談できるお医者さんです。



医師 園田先生

みんな 公立佐賀

頼れる病院の窓口をめざして

来院された皆さんが安心して受診できるよう、笑顔と正確なご案内を心掛けています。受付はいわば病院の窓口。これからも、気軽に声を掛けていただける身近な存在をめざし、一人一人を笑顔でお迎えしていきます。



受付スタッフ
近藤さん・山本さん

良いか」を一緒に考えています。さらに、院内にはたくさんのアートが飾られ、訪れる人の目を楽しませていきます。定期的に展示が替わる作品を前に、患者さんとスタッフの対話や笑顔が生まれることも。患者さんはもちろん、訪れる人や働く人の心も和らぐ、地域に開かれた病院をめざしています。

■ 対話や笑顔が生まれる空間づくり

院内を彩るアートが人と人とのつながりを育んでいます。

■ 広がる専門性で支える医療

多様な専門職が連携し、その人に合った医療を届けます。

■ 患者さんを第一に考えるチーム

笑顔と対話を大切に、一人一人に寄り添います。

初めての骨折で長期入院したとき、不安や焦りを感じましたが、スタッフの皆さんの明るさや温かな声かけに救われました。多くの人の支えを感じ、この病院の素晴らしさを実感しました。



通院の付き添いで訪れた際、待ち時間にアート作品を鑑賞しました。公共の病院でこのような作品に触れられることは、大きな励みになると思いました。



問 公立佐賀中央病院

☎ 20・3400



公式
ホーム
ページ